

6

No.4  
JUNE.2006

広報

Y O S A N O

よさの



●

4月の終わりから町内はお祭り一色に。

太鼓や囃子はやしの音色、子どもたちの元気な声がまち中に響き渡りました。

そんなお祭り風景から一枚。元気な子どもたちもひと休みです。



↓ 迫力満点の御輿(幾地)



↑ 天満神社から御輿をおろす男衆(加悦・算所地区)

→ 子どもたちは神楽が大好き。手や頭をかんでもらい厄払い(加悦奥地区)  
↓ 三人そろった見事な太刀振り(温江地区)



↑ 八幡神社のお稚児行列。子どもたちが着物を着てまちを練り歩く  
← 元気いっぱいギャル御輿(四辻地区)



← 畠中神社のお堂で神楽が奉納された(滝地区)  
↙ 芸屋台から奏でられる囃子が宵宮を盛り上げた(後野地区)



→ 苦無神社前の道路で道振り(上山田地区)  
↓ 餅まきが行われた阿知江神社はたくさんの人で賑わった(岩屋地区)

特集 ◎まつり

# 加悦谷祭

4月の終わりから5月のはじめにかけて、町内はお祭りムード一色に。その模様を特集で紹介します。まずは、4月29・30日の「加悦谷祭」をピックアップ。加悦谷祭は加悦、野田川(三河内地区除く)の各地区で4月の最終土・日に催されるお祭りです。



→ 町内を一軒一軒まわり神楽が舞われた(金屋地区)  
↓ 明石公民館では、たくさんの人が見守る中で神楽が奉納された(明石地区)



↑ 大宮神社での道振り。一生懸命太刀を振る子どもたち(石川地区)



↑ 約30人が屋台をかつぐ「担い屋台」。参道や境内に担ぎ手の声が響き渡る(与謝地区)  
← かまど清めをする神楽(香河地区)



倭文神社で奉納される神楽舞。その迫りに子どもたちもビックリ



↑豪華絢爛な山屋台が町内を巡行  
へ「おーい、おーい、おーい」と須代神社(明石)の神様に呼びかける



特集 ◎まつり

# 三河内曳山祭

5月3・4日に行われた「<sup>みごちひきやまつり</sup>三河内曳山祭」。京都府無形民俗文化財にも登録されるこのお祭りは祇園祭をほうふつさせ、豪華絢爛な山屋台を見ようとたくさんの人出で賑わいました。



万歳三唱で祭りも最高潮に



↓並んだ屋台が水田に浮かぶ姿は幻想的



→「どでっさっさー」の音が響き渡る



# 特集 ◎まつり 岩滝祭

毎年5月1日に行われるのは「岩滝祭」。各地区で御輿や神楽、太刀振りなどが奉納されます。



→役場で奉納された子ども神楽  
↑上は出番を待つ子どもたち(岩滝連合区)



→木積神社境内で太刀振りが奉納された(石田地区)  
←男山町内全域を巡行する御輿(男山地区)



# 与謝野 名前ものがたり

加悦町、岩滝町、野田川町の3町が合併して誕生した「与謝野町」。ゴールデンウィークでふるさとに帰ってきた親戚や兄弟に「なんで『与謝野町』って名前になったの?」なんて尋ねられ「与謝野ナントカって人がいたよね」とは答えてみたものの、実は「?」な方も多いのではないのでしょうか。そこで今回、わたしたちのまち「与謝野町」の名前の由来について考えてみたいと思います。

## 地名編

その名のとおり「与謝野」の「与謝」は与謝郡の郡名に由来しています。では、いつ頃からそう呼ばれるようになったのでしょうか。

歴史上最も早く「与謝」の郡名が史料に出てくるのは、奈良時代の養老4年(720)に編纂された『日本書紀』に収録された雄略天皇22年7月「丹波国余社郡管川人水江浦嶋子」の記事で、その後も「丹波国余社郡」がさかんに出てきます。

この「丹波国余社郡管川」とは与謝郡筒川、つまり伊根町の筒川地区を指しています。ここで余社郡が丹波国となっているのは、奈良時代の和銅6年(713)に丹波国の北部5郡が分割されて丹波国が設置されるまで、丹

波国となっていたからです。『日本書紀』に「与謝」がさかんに出てくる時代は、おおよそ、5世紀から6世紀の古墳時代中期から後期にかけての頃と推定されています。

その後、奈良に都がつけられた藤原宮や平城宮からは、人名や地名などが書かれた木簡とよばれる荷札が発掘調査で多数出土しますが、それにも「与謝」の地名が書かれています。

7世紀末の藤原宮からは「予射評」、8世紀の平城宮跡からは「与社郡謁香郷」「与社郡日置郷」「与謝郡宮津郷」「丹波国与謝川」と書かれた木簡が出ています。

このように「与謝」の郡名は、文字としては「余社、与社、与謝」と表現されながら、今から1500年近く前の古墳時代にあらわれて、以後広域をあらわ

す郡名として定着していったようです。

「与謝野町」というように地名としての「与謝」は、鎌倉時代の弘安5年(1282)に「与謝の法順」という僧侶がいたことが『向上人伝』という史料に書かれています。

ただし、これは前後の文脈からして与謝郡の郡を略している可能性もありますが、一応、地名としての与謝は鎌倉時代に出現していたとみてよいかと思われれます。

「与謝」の名称は郡名が古墳時代に成立し、地名としての「与謝」は鎌倉時代になって出てきたと考えられ、歴史的にも長く使われていた地域を代表する名称といえるでしょう。  
(与謝野町教育委員会)

## 新町の名称は どんな方法で 決められたの

加悦町・岩滝町・野田川町合併協議会が平成17年2月10日から新町の名称の募集を開始し、2週間で総数932通もの応募がありました。

第1次選定では、応募上位5候補と選定委員会で3候補を選定し、8候補に絞り込み、平成17年3月9日の第4回合併協議会で第2次選定と最終決定が委員の投票により行われました。

2次選定では「与謝町」「与謝野町」「よさの町」

## 人物編

「与謝野」の「与謝」の部分から江戸時代中期の俳人・与謝蕪村を想起される方は多いと思います。蕪村の母親は与謝野町字与謝の出身と伝えられ、彼女が眠るといふ同地区の墓には、現在も多くの俳人や研究家・愛好家が訪れています。

蕪村自身も宝暦4年(1754)に丹後を訪れ、40歳前後の3年間をこの地で過ごし、次のような俳句を残しました。

「夏河を越すうれしさよ  
手に草履」  
「雲の峰に肘する  
酒呑童子かな」

丹後での3年間を、特に絵画の修行に費やしたとされる蕪村の描いた作品は、施薬寺(字滝)が所蔵する「方士求不死薬図」をはじめ、町内にいくつも残さ

れています。

丹後での修行時代を終え、京都に戻った蕪村は、宝暦10年(1760)頃から、それまで名乗っていた母方の姓「谷口」を改め、「与謝」姓を名乗るようになったといわれています。母親の面影残るこの土地に、蕪村は特別な想いがあつたのかもしれない。

「与謝野」といえば、多くの方が与謝野鉄幹と与謝野晶子を思い浮かべるでしょう。

明治から昭和初期にかけて数々の優れた短歌を詠み、近代短歌の革新に貢献した与謝野鉄幹・晶子夫妻ですが、この鉄幹の父・与謝野礼蔵は与謝野町字温江の細見家に生まれました。

幼くして出家し、浄福寺(字加悦)での修行を経て京都の西本願寺で得度した礼蔵は、生まれの地にちなんで「与謝野」姓

を名乗るようになります。

幕末期には勤皇倒幕運動に貢献し、明治維新後には療病院や鉱泉場の開設など、公益事業に従事しました。

僧侶であり歌人でもあつた礼蔵について、歌人・斎藤茂吉は「明治初期に出た特色ある歌人の一人」として非常に高く評価しています。

後に鉄幹は、自らの歌の原点ともいえる父親のふるさとに、晶子を伴って訪れ、多くの歌を残しています。

与謝蕪村と与謝野礼蔵・鉄幹・晶子。与謝野町の町名の由来となった俳人・歌人たちの歴史を紐解くと、彼らもまたこの地を自分たちにゆかりの深い土地として、古代から使われていた地名「与謝」を、その姓に取り入れていたことがわかります。  
(与謝野町教育委員会)

大内峠一字観公園から眺める天橋立。ここで晶子は「海山の青きが中に螺鈿おく 峠の裾の岩滝の町」と詠んでいます。

野田川親水公園内に建てられた蕪村の句碑



与謝野鉄幹・晶子夫妻



鉄幹・晶子が丹後を訪れたときの一枚



の3候補に絞り込まれ、最終投票では「与謝野町」が14票(23票中)の最高得票数を獲得し、新町の名称として決定しました。また読み方についても「与謝郡与謝野町」は「よさぐんよさのちょう」と読むことで確認されました。

## 春の叙勲 おめでとうございます

このほど春の叙勲・褒章が発表され、町内の3人の方が受賞されました。受賞者は糸井弘志氏（岩滝）伊藤和夫氏（加悦）大西恭輔氏（四辻）の3人で次の功績が認められ受賞となりました。

糸井氏は昭和22年旧岩滝町に奉職して以来47年間、総務課長、参事、助役などを歴任されました。平成6年の町長初当選後は3期12年の間、町の発展と住民福祉の向上に多大な貢献を果たされました。

伊藤氏は交通の便も悪く冬季降雪量の多い山間部のへき地診療所の医師として、昭和30年に赴任以来平成17年3月に閉院するまでの50年間、日常の診療業務に加え、小学校医や保育園医、休日当番医や予防接種事業など当地域の医療に多大な貢献を果たされました。

大西氏は昭和40年から現在まで、加悦谷の複数の幼稚園、小中学校、高等学校の学校薬剤師を勤められ、学校における保健管理に指導助言され、子どもたちの健康管理に努め、学校の衛生環境活動に取り組まれています。

長年のご労苦に敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍を祈念します。



いと い ひろし  
**糸井 弘志 氏**  
◎旭日双光章  
元岩滝町長。元与謝野町長職務執行者。岩滝

いとう かずお  
**伊藤 和夫 氏**

◎瑞宝双光章  
元伊藤医院・伊藤医院滝分院（与謝診療所）院長。加悦



おおいし きょうすけ  
**大西 恭輔 氏**  
◎瑞宝双光章  
大西薬局経営。京都府学校薬剤師会理事。元同会与謝支部長。四辻



心地よい天候でたくさんの人で賑わいました

## 初夏の大江山を満喫

— 双峰公園まつり

さわやかな天候に恵まれた5月4日、恒例となった双峰公園まつりが開催され、たくさんの親子連れで賑わいました。

野田川太鼓の演奏でまつりのオープニングを告げた後は、模擬店やビンゴ大会などで大盛り上がり。ほかにも公園内を散策したりと訪れた人たちは大江山の自然を満喫しました。



設立総会の様子

## 与謝野町体育協会が発足

— 与謝野町体育協会設立総会

スポーツを通じた町民の親睦と体力の向上、生涯スポーツの普及発展、社会体育の振興を目的に与謝野町体育協会が発足し、5月12日、町中央公民館（四辻）で設立総会が開催されました。

会長には井田義之氏（石川）が就任し、16の競技団体が加盟することになりました。各競技部の事業についても各種大会、研修会などが計画されています。

## ちりめん小物を展示販売

— 「絹のギャラリー」オープン

町織物技能訓練センター（四辻）内に、5月14日「絹のギャラリー」がオープンしました。

毎月第2・4日曜日に絹のギャラリーの会（会長：山添四郎氏）が、センターの一角に染色や手機で創作された商品を展示・販売しています。

絹のギャラリーの会・副会長の楠八千代さんは「お客さんの声が直接聞けることはとても貴重。このギャラリーをとおして『染め』と『織り』の輪が広がれば」と話しておられました。

市場より安い価格で商品が販売されるほか、手機の体験なども企画されています。一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



ショールやバックなどたくさんの商品が並びます

## クリーンキッズ活動開始

— クリーンキッズ野田川

与謝野町野田川地域・京のわくわく探検事業として実施される「クリーンキッズ野田川」が第1回目の活動を5月13日に開始しました。

旧野田川町から実施されているこの活動。子どもたちがボランティア活動などの体験活動をとおして、地域の人たちや子ども同士の間で人間性豊かに育つことを目的に実施され、旧野田川町地域の小学5・6年生と与謝の海養護学校に通う児童・生徒23人で年間13回の活動を行います。

第1回目ということもあって子どもたちは緊張した様子を見せながら、森林公園（三河内）の花壇の整備や花の植え付け、公園を探検するなどして楽しみました。



消防団旗に敬礼する消防団員ら

## 火災のないまちを目指す

— 与謝野町消防団結団式

与謝野町消防団結団式が5月14日に知遊館で開催され、約80人の来賓と消防団員が出席しました。

式は真新しい団旗の入場とラッパ隊の演奏でスタート。太田町長からは「府内でも抜群の消防団活動を誇っていた加悦町・岩滝町・野田川町消防団の特色を生かし、各消防団の築いてこられた名誉ある伝統を立派に引き継がれ、更に発展していただけるものと、大きく期待しています」と式辞が述べられました。

与謝野町消防団初代団長の小池団長からは、結団にあたり「町民の期待に応えるべく、安心・安全のまちづくりの一役と火事を出さない・出させないをスローガンに『火災のないまち よさの』を目指す」と力強く宣言し、出席した消防団員は心をひとつにしました。



森林公園の花壇を整備し、花の植え付けをするクリーンキッズ野田川の子どもたち



## おたっしや倶楽部で七転び八起き

第2回目の健やか広場は、介護が必要にならないための転倒予防教室「おたっしや倶楽部」を紹介します。

### CHECK 介護を予防するには

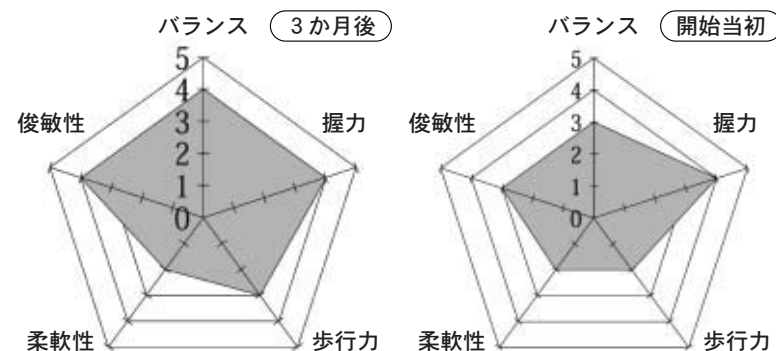
高齢期は、ささいなことをきっかけに介護が必要な状態になっていきます。介護を予防するには、「元気がおきから」「ささいなこと」がおきても、また「元気になるような心がけること」が大切です。

### CHECK おたっしや倶楽部とは

よく転んだり、足腰に自信がなくなつた高齢者のための運動教室です。定員は10名ほど、回数は週1回を3か月間合計12回行っています。

### CHECK 運動教室の成果

旧加悦町で平成14年から実施しており総勢148人が利用されました。



### 【3か月後の体力測定結果】

特に歩く力・俊敏力・バランス力が伸びています。こうした力が足腰の丈夫さや身のこなしを高め、日頃動けるようになり、活動的な生活を送ることができきつかけになっています。

【参加者の声】  
・膝痛は少し残るが楽に歩ける

質問項目	チェック項目
この1年間で転んだことがある	はい ..... いいえ
転ぶことに不安がある	はい ..... いいえ
15分続けて歩けない	はい ..... いいえ
椅子から何も持たずに立てない	はい ..... いいえ
階段を手すり等つたわらないと昇れない	はい ..... いいえ

### CHECK どんな人が対象ですか

① 次の項目にすべて該当する65歳以上の方

- ・ 何気ない動作が楽になつた
- ・ この歳で友達ができた
- ・ 良く眠れるようになった
- ・ がんばれば良くなれることに自信がついた

② 今年度から、65歳以上の方に基本健診に介護予防健診が追加され、その結果から「おたっしや倶楽部」をお勧めします。

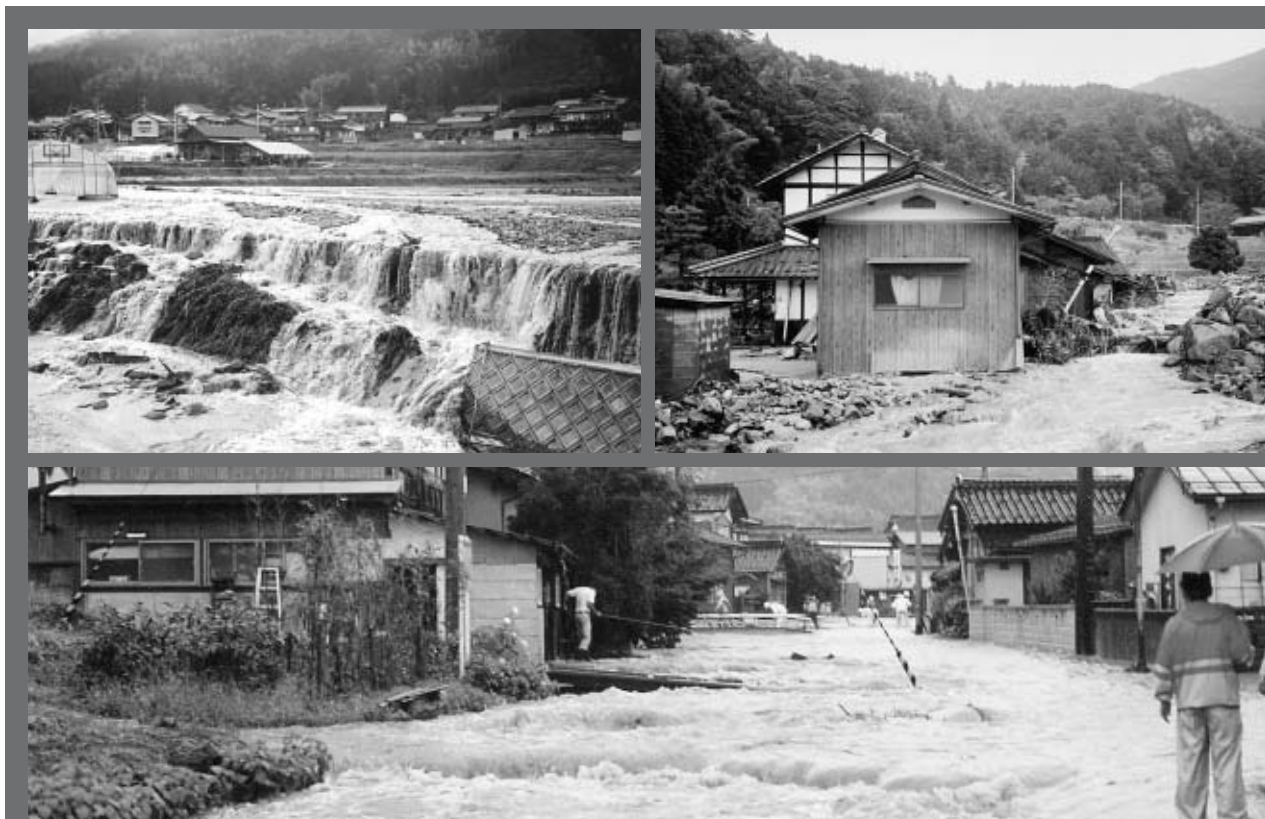
③ すべて該当しないが参加希望の方は、理学療法士・保健師にご相談ください。

※元気な方、①に該当しない方、介護保険認定者は対象から外れます。

### CHECK 参加を希望される方は

申し込みやご質問などは、保健課保健係（加悦庁舎 TEL（43）1514）までご連絡ください。申し込みには、かかりつけ医の判定書が必要です。

※今年度2回目のおたっしや倶楽部は、7月3日から9月25日まで実施します。



## 梅雨時期到来 備えは十分ですか？

梅雨時期から10月頃まで集中豪雨や台風がひんぱんに襲ってきます。被害を最小限に食い止めるためにも防災情報を正しく理解し万全の対策を心がけましょう。

### 対策 災害に備えて

#### 防災広報をしっかりと聞く

町防災行政無線や広報車などの防災広報をしっかりと聞くこと。



#### 早めの準備を

早め早めの準備が大切です。停電に備え、トランジスタラジオ、電池の備えを。



#### 最寄りの避難場所を確認

「暮らしのガイドブック」などで最寄りの避難施設を家族で確認しましょう。



### 対策 わが家の防災対策

#### ● 屋根

瓦やトタンのはがれ、ズレなどをチェック。めくれやひびは針金で補強する。アンテナの固定も忘れずに。

#### ● 窓ガラス

飛来物や強風で割れないように、外から板でふさぎ内側のカーテンを開ける。ひび割れや窓枠のガタツキがあれば補強する。

#### ● ベランダ

鉢植え、物干し竿など、飛ばされそうなものは屋内へ。排水口にも注意。

#### ● ブロック塀・板塀

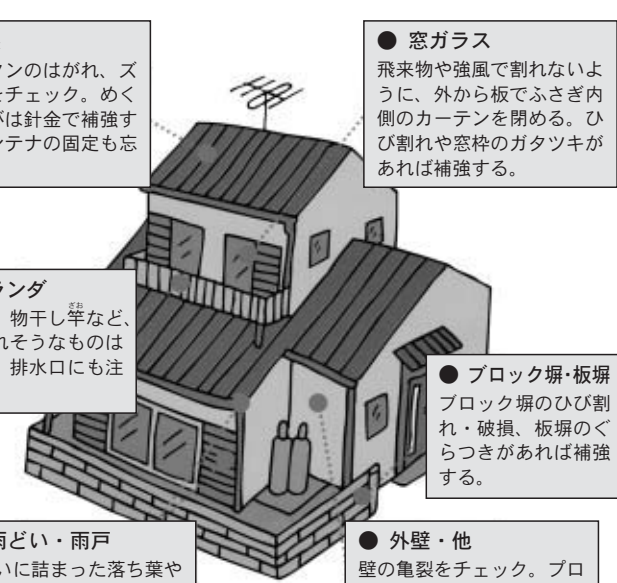
ブロック塀のひび割れ・破損、板塀のぐらつきがあれば補強する。

#### ● 雨どい・雨戸

雨どいに詰まった落ち葉や土砂をとり除く。継ぎ目ははずれ、塗料のはがれにも注意。雨戸のガタや緩みは補強し、隙間を板で覆う。

#### ● 外壁・他

壁の亀裂をチェック。プロパンガスのボンベは固定する。家の周りを一周し、飛ばされそうなものは固定するか屋内へ移動を。





マイケル ダリー Michael Dalley

マイケル英訳の英語版サイト「A GUIDE TO LIVING」が開設しました。その中でこのコーナーもさらに充実して掲載されていますのでぜひご覧ください(国際交流員のページは日本語です)。

http://www.town.yosano.lg.jp/contents/english/index.html

-Second Edition- よさのよさ

6月はカナダも日本もどちらもアジサイが咲いたり、汗をかいたりすると「夏が来たぞ」と挨拶されているように感じます。梅雨から夏になるといふことは、雨から汗の季節になることで、どうせ濡れるなら雨の方がましと思っ、もうちよつと降って欲しいと思うのが正直な気持ちです。
( )の間、KBS京都の与謝野町を紹介する生放送の番組の中で、与謝野町の良いところを紹介することができました。僕の立場は一般の町民と異なりますが、町民の一人として誇りに思うところがたくさんあります。
例え、同じ近所に住ることは素晴らしいと思いません。しかも、他の地区と勝負して、負けても慰労会があり、さらに反省会でも大勢の人が集まります。「国際交流」もこのような「町内交流」であって欲しいです。



西光寺庭園 [さいこうじていえん]

- 場所 与謝野町字後野 (加悦天満神社の森の南隣り)
■指定等の状況 京都府指定有形文化財/名勝 (昭和58年4月15日指定)

西光寺の庫裏(お寺の住職や家族の住む所のこと)の西隣りには、江戸時代後期(およそ1800年代)の作とされる庭園があります。庭園に向かって立つと、手前に切石の反り橋を渡した細長い池を横たわせ、その護岸には覗き石を配した石組みをめぐらして...

時の贈り物 第二回
「梅雨の時節、石組みと縁が織りなす風景」

西光寺の庫裏(お寺の住職や家族の住む所のこと)の西隣りには、江戸時代後期(およそ1800年代)の作とされる庭園があります。

そして、池の奥は緩く野筋状の隆起をつけた臥石本位の穏やかな枯山水風な石組みでまとめ、近接する背後の樹林も取り込んだ落ち着いた佇まいが、梅雨の時節を演出しています。(与謝野町教育委員会)

今月のオススメの一冊

与謝野町立図書館(知遊館1階) TEL 46-2451
加悦分室(加悦地域公民館2階) TEL 43-0335
野田川分室(町中央公民館1階) TEL 43-0087

一般書



『ミーナの行進』

小川洋子 著
中央公論新社

昨年の本屋大賞『博士の愛した数式』の著者の最新作。早くに父を亡くした私は、母が洋裁の専門学校に通う1年間、伯母夫婦に預けられます。芦屋の洋館に住み、カバのポチ子に乗って学校へ通う天使のように美しい従姉妹のミーナと過ごす日々を軸に描かれており、温かく懐かしい気持ちになる物語です。



『発想力を鍛える 数字の読み方練習帳』

池上 彰 著
小学館

報道記者を経てニュースキャスターであった著者は、ニュースなどで普段耳にする数字について分かりやすく説明する一方で、数字による裏のカラクリについても指摘しています。この本を読んだ後は、新聞やニュースの数字を見る目が変わること間違いなしです。



『ボクの犬』

きむらゆういち 作 わたなべゆういち 絵
白泉社

夏のある日、ボクは白と薄茶色の毛の犬と出会った。チョコと過ごす毎日はボクを明るく元気に変えたのだけれど、夏休みももうすぐ終わるところにおこった出来事がきっかけで、チョコとの別れが訪れる…。『あらしのよるに』の作者が描いた少年と犬との切ないけれど、心温まるお話です。



『コッコさんとあめふり』

片山 健 作・絵
福音館書店

あめふりの毎日がつづくので、コッコさんはてるてるぼうずを作りますが、雨はやみません。そこでコッコさんは、てるてるぼうずをパワーアップさせる方法を考えつきます。さて、コッコさんの願いはかなうのでしょうか? 図書館には他にも『コッコさん』シリーズがありますので、あわせてどうぞ。

その他にも...

- 【一般書】 ●『がんに負けない、あきらめないコツ』 鎌田實/朝日新聞社 ●『世界の音を訪ねる一音の錬金術師の旅日記(岩波新書)』 久保田麻琴/岩波書店 ●『無形の力』 野村克也/日本経済新聞社

- 【児童書】 ●『あめのもりのおくりもの おおきなクマさんとちいさなヤマネくん』 ふくざわゆみこ/福音館書店 ●『ハリーポッターと謎のプリンス』 j.k.ローリング/静山社

おはなし会のお知らせ
本館 七夕お話し会 7/1(土) ①午後1時30分 (幼稚園児まで対象) ②午後3時 (小学生対象)
野田川分室 6/17(土) 午後3時
加悦分室 7/8(土) 午後3時
休館日 本館・加悦分室(毎週月曜) 6/5・12・19・26 7/3・10
野田川分室(毎週火曜) 6/6・13・20・27 7/4
共通(毎月最終木曜) 6/29
開館時間 午前10時~午後6時
図書館からのお知らせ (7/10まで)

町議会 正副議長が決まりました

5月9日に開催された与謝野町の初議会となる臨時会で議員役員改選が行われ、議長に糸井満雄氏が、副議長に今田博文氏が選ばれました。



糸井満雄 議長



今田博文 副議長

延長窓口を実施しています

町では、延長窓口を次の日程で実施していますので、ご利用ください。

庁舎によって実施曜日が異なりますのでご注意ください。

- 本庁（岩滝）  
毎週水曜・午後7時まで
  - 野田川庁舎  
毎週月曜・午後7時まで  
（毎週木曜日から月曜日へ変更になりました）
  - 加悦庁舎  
毎週金曜・午後7時まで  
（時間を30分延長しました）
- ※住民票、印鑑証明等は、どこの庁舎でも交付できます。

延長窓口についてのお問い合わせは…

- 岩滝地域振興課（TEL 46-3002）
- 住民環境課（野田川庁舎：TEL 44-2083）
- 加悦地域振興課（TEL 43-1512）

東町区に自治宝くじの収益金で  
コミュニティ活動備品が整備されました

地域コミュニティ活動の発展を目的に、財団法人自治総合センターの自治宝くじ受託事業収入を財源とするコミュニティ助成金を受け、東町区に獅子頭、のぼり等の祭用備品、災害救助工具、トランシーバー、テント、拡声器等の防災用備品のほか、冷蔵庫、電子レンジ、エアコン、長机、ロッカー等の公民館備品が整備されました。



右上から、のぼり、獅子頭、トランシーバー、テント



平成18年度町府民税から適用される税制改正について

● 定率減税の縮小

平成17年度までは所得割額の15%相当額（町府民税合わせて最高4万円）が減税されていましたが、平成18年度から7.5%相当額（町府民税合わせて最高2万円）に縮小となりました。（平成19年度からは廃止）

● 老年者控除が廃止されました

平成17年度までは65歳以上の方で合計所得金額が1,000万円以下であれば老年者控除として48万円が適用されていましたが、平成18年度から廃止されました。

● 公的年金等控除額の改正

年齢が65歳以上の方の公的年金等控除額が引き下げられました。

	公的年金等の収入額	公的年金等控除額
改正前	260万円以下	140万円
	260万円超 460万円以下	年金収入×25% +75万円
	460万円超 820万円以下	年金収入×15% +121万円
	820万円超	年金収入×5% +203万円
改正後	330万円以下	120万円
	330万円超 410万円以下	年金収入×25% +37万5千円
	410万円超 770万円以下	年金収入×15% +78万5千円
	770万円超	年金収入×5% +155万5千円

● 65歳以上の方の非課税措置の廃止

平成17年度までは65歳以上の方で前年の合計所得金額が125万円以下の場合には非課税でしたが、平成18年度から廃止されました。経過措置として、平成17年1月1日現在で65歳以上で平成17年中の合計所得金額が125万円以下の方は、平成18年度課税分の所得割額および均等割額の3分の2が軽減されます。平成19年度は3分の1が軽減され、平成20年度分から全額課税となります。

● 均等割の改正

均等割の納税義務のある夫と生計を同一にする配偶者で、夫と同じ町内に住所を有する方の均等割についても全額課税となり、経過措置として、平成17年度は2分の1（2千円）に軽減されていましたが、平成18年度から全額課税（4千円）となります。

※今回の税制改正により特に年齢65歳以上の方で平成17年度までは町府民税が非課税だった方にも、平成18年度から町府民税が発生する場合があります。

税制改正についてのお問い合わせは、  
税務課（野田川庁舎：TEL 44-2084）まで

▽ お詫びと訂正 ▽

広報よさの5月号で次のとおり誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

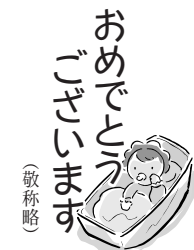
〈P7「議員抱負（森本議員）10行目」〉  
「(略) 教育、産業、福祉などの進行」  
→ 「(略) 教育、産業、福祉などの振興」

この欄で紹介する出生とお悔やみは、4月16日から5月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

町内に配付している  
広報誌には掲載しています



町内に配付している  
広報誌には掲載しています



・まちのうごき・  
平成18年5月1日現在  
人口 25,752人(+31)  
男 12,219人(+3)  
女 13,533人(+28)  
世帯数 8,919戸(+58)  
※括弧内は前月比



## 2006 ひまわり15万本

今年の夏の思い出は  
これに決まり！



…イベント期間…

8月5日(土)～8月13日(日)

午前9時～午後5時

…会場…

野田川わーくぱる東側

…イベント内容…

巨大ひまわり迷路

泥んこバレーボール大会：6日(日)

懐かしの案山子<sup>かかし</sup>コンテスト

ひまわり写生会

とうもろこし収穫体験 など

…問い合わせ先…

ひまわり実行委員会事務局

(商工観光課内 TEL 46-3269)